

小さな話し

Anisa Padang Pelangi

皆さん、日本のクッキーを買うとき、何か気づいたことはありますか？形がかわいくておいしいですね。ハローキティの形やドラえもんの形など様々な種類を見たことがあると思います。また、クッキーの包装も保存したくなるぐらい可愛いですね。

今回、日常生活と密着な関連があるクッキーの包装について皆さんと一緒に深く考えていきたいと思います。

クッキーをあまり食べない方にしても、お土産として買うことがありますね。私はクッキーが好きです。スーパーやコンビニなどでクッキーを買うとき、このようなことに気づいたことがよくあります。日本の包装はかわいくて本当に良いですが、ちょっともったいないと思います。

ひと箱のクッキーを買うとちゃんと一個ずつのクッキーを包装してあり、紙やプラスチックをたくさんつかって、クッキーを包みます。

この部屋で私の話しを聞いている方々から「それは食べ物の包装だから当然でしょう」「包装がきれいでなければ売れないものになるでしょう」と考えているかもしれません。それはわかります。食べ物の包装は確かに衛星の面や見た目の大事さをしっかり考えなければなりません。しかし、そんなきれいな紙やプラスチックなどを使用しているのに結局捨てるものになってしまうなんてこれはもったなくはありませんか。

私の国ではノートさえ持っていない学生がいます。毎日学校に通っていて様々な必修科目を学ばなければならないのにノートを一つしか持てなく、それで勉強を続けていきます。私の国、インドネシアでは紙の存在はまだまだ貴重なものです。しかし日本ではそんなきれいで大変多いの紙がただ包装のために使われていて、これはもったいないと思いませんか？

私は包装の工場アルバイトをしたことがあります。そこで見た包装で使われていた紙やプラスチックなどの量はとてもたくさんあってびっくりしました。「今からする包装紙のためにいくらの木を切ったのだろう」と思いました。そして、どんな木にしても一年間だけでどんなくらい木を植えなおすことができるでしょう。

もちろんどんな包装にしても、それぞれの良し悪しがあると思います。インドネシアの場合、目立ったきれいな包装でクッキーを売りますが、一個ずつのクッキーはそこまで包装しません。それで友達に配ろうとすると日本のクッキーのように配りやすいものではありません。

「なんだ包装の話なんて私たちと関係ない」と考える方々がいるかもしれま

せん。それは違います。考えてみてください。なぜそのような包装になると思いますか。消費者を満足させるために、消費者から買ってくれるために様々な対策を考えて、ものを提供するからです。このように考えてみればこの問題のカギは消費者、つまり私たちです。私たちの衛星基準や考えや好みなどずっとこのままになると、地球環境にどんな影響を与えるのでしょうか。このようなことわざがあります。「小さな火であっても、それはやがて野一面を焼き尽くす炎となす」。小さなことでも積みかねると大きなことになるでしょう。さて、皆さん、このことについてどう思いますか。